

2021年7月30日

各位

本社所在地 大阪市中央区十二軒町5-12
 上場会社名 株式会社 マンダム
 代表者名 代表取締役社長執行役員 西村 健
 証券コード 4917 東証第1部
 問い合わせ先 IR室長 川北 英男
 (TEL. 06-6767-5020)

業績予想の修正に関するお知らせ

2021年5月11日に公表した2022年3月期第2四半期(累計)(2021年4月1日～2021年9月30日)、および2022年3月期通期(2021年4月1日～2022年3月31日)の連結・個別業績予想について下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。なお、本業績予想の修正に伴う1株当たり年間配当予想36円の変更は予定しておりません。

記

1. 連結業績予想について

(1) 2022年3月期 第2四半期(累計) 連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	33,150	960	1,110	870	19.39
今回修正予想 (B)	29,500	△1,600	△1,250	△450	△10.03
増減額 (B - A)	△3,650	△2,560	△2,360	△1,320	—
増減率 (%)	△11.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績(2021年3月期 第2四半期)	33,548	895	1,205	2,136	47.62

(2) 2022年3月期 通期 連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	64,000	950	1,220	720	16.05
今回修正予想 (B)	62,000	0	300	850	18.95
増減額 (B - A)	△2,000	△950	△920	130	—
増減率 (%)	△3.1	—	△75.4	18.1	—
(ご参考) 前期実績(2021年3月期)	63,310	△793	△273	860	19.17

2. 個別業績予想について

(1) 2022年3月期 第2四半期(累計) 個別業績予想の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	22,300	2,630	2,240	49.93
今回修正予想 (B)	19,700	550	1,150	25.63
増減額 (B - A)	△2,600	△2,080	△1,090	—
増減率 (%)	△11.7	△79.1	△48.7	—
(ご参考) 前期実績(2021年3月期 第2四半期)	23,102	2,236	3,041	69.78

(2) 2022年3月期 通期 個別業績予想の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	40,500	2,220	1,840	41.01
今回修正予想 (B)	40,000	1,600	2,200	49.03
増減額 (B - A)	△500	△620	360	—
増減率 (%)	△1.2	△27.9	19.6	—
(ご参考) 前期実績(2021年3月期)	41,787	822	1,796	40.03

3. 業績予想修正の理由

第1四半期において、日本の男性化粧品市場の需要回復が想定ほど思わしくなく、加えて春・夏シーズンに向けてリニューアルした商品が当初見込みほど売上高に寄与できませんでした。海外グループにおける新型コロナウイルス感染症拡大による消費低迷も継続していることから2021年5月11日に公表した第2四半期(累計)の売上高の業績予想を下方修正いたします。

各段階利益についても、販売費の効率化や一般管理費の抑制に努めるものの、減収影響が大きく、下方修正いたします。

一方、下半期につきましては、感染症拡大も徐々に収束し売上も回復することを想定しておりますが、第2四半期までの要因を勘案した結果、通期の売上高の業績予想につきましても、同様に修正いたします。

親会社株主に帰属する四半期純利益及び当期純利益は、7月27日に公表いたしました「特別利益(投資有価証券売却益)計上に関するお知らせ」による影響を織り込んでおります。

なお、業績予想は、外的要因により予期せぬ変動が生じる可能性も否定できないため、大きな変動が見込まれる場合は、あらためて速やかにお知らせいたします。

(注)上記の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報から得た判断に基づく将来の予想であり、実際の業績は様々な要素

により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

以上